

令和4年度（2022年度）実績

ふるさと五木村づくり計画

～ ひかり輝く五木村～



五木の秋祭り（太鼓踊り）

令和5年（2023年）4月

熊本県 ・ 五木村

基本計画の概要

1	計画期間	1
2	財源措置	1
3	計画の推進体制	1
4	めざす姿	2
5	取組分野	2
6	実現のための施策	3

令和4年度（2022年度）に取り組んだ主な施策

1	総括	4
2	ソフト事業	4
	（1）観光・物産振興	4
	（2）林業振興	13
	（3）商工業振興	18
	（4）移住・定住の促進	20
	（5）脱炭素社会の実現に向けた取組み	22
	（6）その他の取組み	23
3	ハード事業	25

参考資料

	各種データ等	30
--	--------	----

基本計画の概要

1 計画期間

令和元年度（2019年度）から令和5年度（2023年度）の5年間

2 財源措置

熊本県五木村振興推進条例等に基づき、熊本県五木村振興交付金を交付する。

(1) ソフト事業

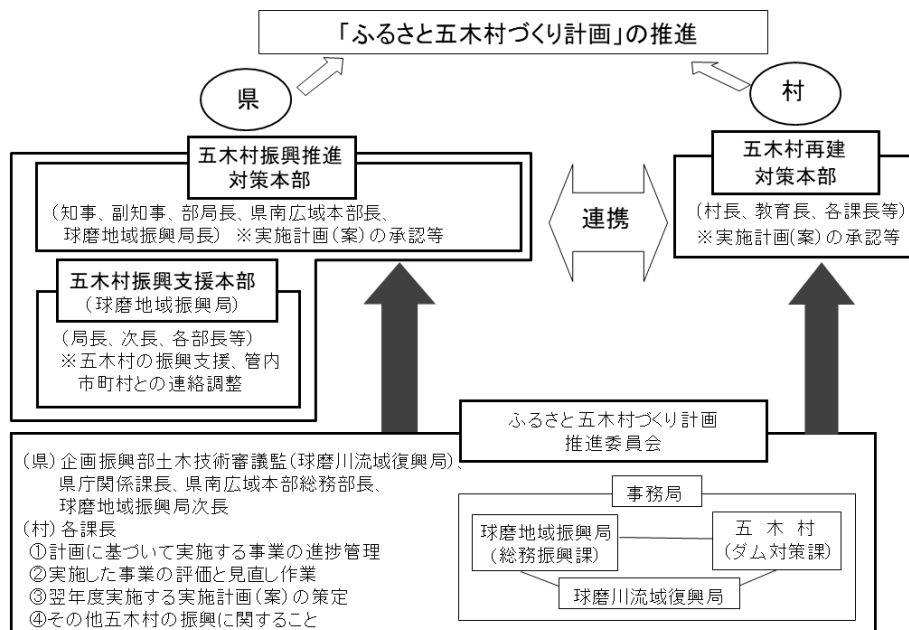
- ・ 国や県の補助制度など他の財源の活用を優先したうえで、他に財源を求めることができないものについて、本交付金を充当
- ・ 本交付金の充当対象は、実施計画に掲載された重点分野の事業
- ・ 熊本県五木村振興基金を財源とする事業については、村の意向により弾力的に充当可

(2) ハード事業

- ・ 本交付金の充当対象は、村が実施する村道・林道整備、住宅整備等の基盤整備事業
- ・ 県の同意を受け借り入れた過疎対策事業債（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年法律第19号）第14条の規定に基づく地方債をいう。）の借入額の3割に充当可

3 計画の推進体制

本計画を効果的に推進していくため、五木村振興推進対策本部（県）及び五木村再建対策本部（村）の下に、五木村と県の共同で「ふるさと五木村づくり計画推進委員会」を設置する。



4 めざす姿

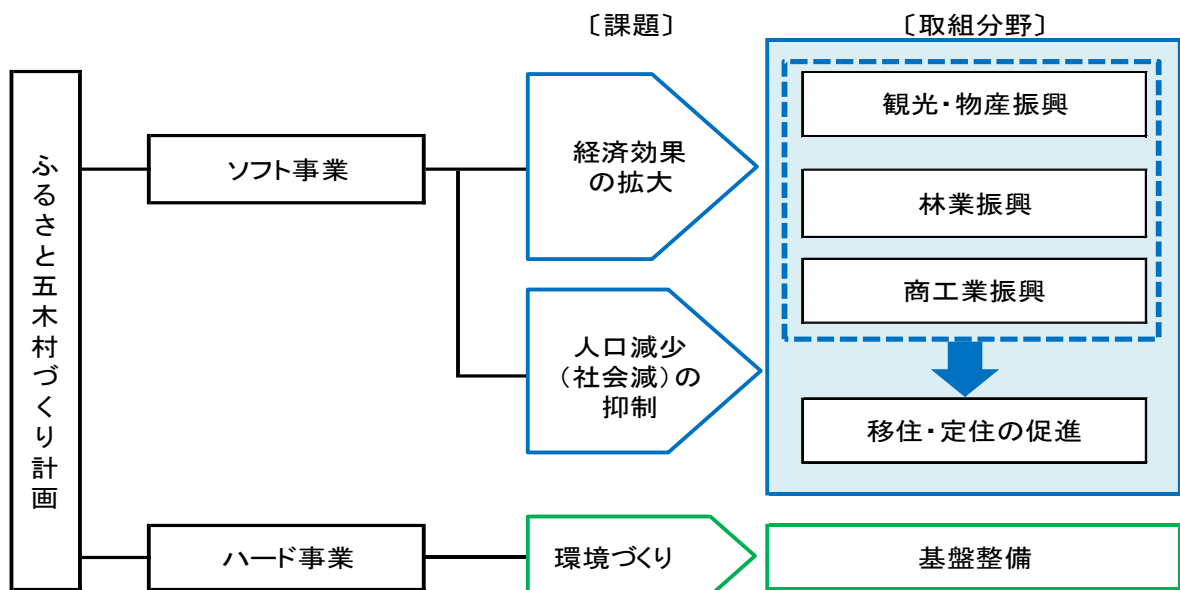
「村民ひとりひとりの見える姿を利点と捉え、
生き活きと暮らせる
『ひかり輝く五木村』」

5 取組分野

(1) 重点化

人口減少の抑制などの残された課題に取り組むため、村の主要産業である観光や林業、商工業の振興により経済効果を拡大するとともに、雇用を創出する。同時に、移住・定住の促進により人口の社会減の抑制を図る。また、安心して住み続けることができるよう道路整備等の環境づくりに取り組む。

(2) 取組分野



6 実現のための施策

(1) ソフト事業

①観光・物産振興

これまで五木村では、伝統文化や自然環境の活用、観光交流拠点等の整備により、観光振興への取組みを進めている。今後は、これらの観光資源を活用した情報発信やサービスの磨き上げを丁寧に行い、交流の拡大や村民の働く場の確保、所得の向上への寄与を加速させる。

また、村の生業や暮らしの中にある素材を活用した魅力ある特産品づくりを推進するとともに、村内外での販売により村の魅力を伝え、さらに認知度を高め、観光及び物産の振興を通して稼ぐむらづくりをめざす。

②林業振興

五木村の面積の94%を占める森林は、木材生産をはじめとした多面的機能(森林の公益的機能)を有しており、その維持が求められている。特に、戦後植林されて伐期を迎えた森林が増えており、今後、伐採や造林等、積極的かつ計画的な森林管理が重要である。

村では、「五木村森林整備計画(平成30年度(2018年度))」に基づき、森林の適正な管理を実施するとともに、五木産材のブランド化や木材流通システムの構築など、五木産材の付加価値を高める取組みを推進する。

また、林業従事者の雇用確保や人材育成に取り組む。

③商工業振興

五木村商工会と連携し、村の地域特性に即した起業や新たな雇用機会の創出に取り組むとともに、特にU・Iターン者や村内の若者等の起業支援に重点的に取り組む。

④移住・定住の促進

生産年齢人口を増やすため、若年層や子育て世代をターゲットに地域の魅力や施策を積極的にPRするなど情報発信を強化するとともに、住まいの確保に取り組む。

(2) ハード事業

県が表明した50億円の財政負担を財源に国の協力も受けながら、着実に基盤整備が図られてきたが、今後、生活環境のさらなる向上のため、道路ネットワーク整備等、残された事業に継続して取り組む。

令和4年度（2022年度）に取り組んだ主な施策

1 総括

令和4年度（2022年度）は、令和2年7月豪雨や新型コロナウイルス感染症の影響で営業を休止していたカヤックやバンジージャンプなどのアクティビティ¹を約2年ぶりに再開した。また、これまで開催していた子守唄祭を変更し、四季折々の五木村を楽しめる多彩なイベント（春祭り、花火大会、秋祭り、冬祭り）として開催した。

新たな取組みとして、物産振興では、耕作放棄地を利用した新規作物（ブドウサンショウなど）の試験栽培を行うとともに、在来作物（赤大根、くねぶ）のPRや消費者との交流を目的とした体験型ツアー（収穫、料理体験など）を開催した。

林業振興では、村の豊富な森林資源を林業担い手の研修の場、子どもの林業学習や林業体験、また、森林散策、森林浴など観光の場として活用する、いわゆる「五木村モデル林」整備を開始した。

ハード事業では、国道・県道・村道・林道の整備・改良修繕、水道施設の改修、下谷団地駐車場の改良に取り組むなど、村民が安心して住み続けることができる生活環境の向上を図った。

ソフト事業やハード事業における具体的な取組みの実績は以下のとおり。

2 ソフト事業

（1）観光・物産振興

①観光振興

○観光資源を活用した魅力ある観光メニューの開発等による滞在型観光の促進

令和2年7月豪雨の影響で営業を休止していた川辺川カヤック・SUP²体験を4月から約2年ぶりに再開した。新たなメニューとして、溪流ヴィラ ITSUKIの宿泊者などを対象とした早朝のカヤック体験（夏季限定）なども実施し、期間（4～11、3月）を通して401人が体験した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で営業を休止していたバンジージャンプを8月から2年ぶりに再開。9月にはナイトバンジージャンプを開催した。期間（8/20～11/12）を通して1,124人が体験し、集客につながった。

ヒストリアテラス五木谷では、「五木谷縄文展」など5つの企画展を開催し、村の歴史文化などの紹介を行った。

ドローンスクール教習所熊本五木村校では、延べ31人が受講した。また、ドローンの普及促進として8、10、2月に「ドローンファイト グランプリ 2022」の大会に向けた予選会を五木村で開催し、村内外より50人が参加してドローン競技を行った。なお、参加者のうち4人がオンライン全国大会の決勝へ進出した。

¹ アクティビティ…活動。アウトドアの分野では、施設が提供する遊び方などを意味する。

² SUP…スタンドアップパドルボードの略。ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進むアクティビティ。

12月には、ワンダフルワンドッグフェスとして、スポーツドッグパフォーマンス等を実施したところ、約100人が参加し、新たな観光客の誘致につながった。

3月には、令和3年度（2021年度）に引き続き、八代市・山江村・水上村と連携し、令和2年7月豪雨災害からの復興を目的として、林道や登山道を走り抜ける「球磨川リバイバルトレイル」を開催し、452人（うち川辺川コース214人）のランナーが参加した（数値は予定数）。

さらに、地域づくり団体の活動として、グリーンツーリズム研究会が、11月に、「秋の五木フットパス」を頭地地区で開催し、参加者19人が村の紅葉や自然を楽しんだ。

五木の祭りについては、これまで開催していた子守唄祭を変更し、村の四季折々の魅力を楽しめるよう年4回（季節ごと）の開催にリニューアルし、延べ約3,400人が参加した。

<五木の祭り開催状況>

イベント	開催時期	主な内容	参加人数 ※（ ）はうち村外からの参加人数
春祭り	5月	五木源（ごきげん）住宅 ³ （3坪住宅）建築体験、ツリークライミング、ヤマメ釣り堀 等	約1,000人 （約850人）
花火大会※	8月	花火大会	約300人
秋祭り	11月	保育園児・小中学生による五木の子守唄の披露、伝統芸能の披露、プロジェクトマップング 等	約2,000人 （約1,800人）
冬祭り	2月	五木村の観光に関するすべての安全祈願祭及びジビエを活用した冬の食の祭典	約100人 （約60人）
合計			約3,400人 （約2,710人）

※夏祭りは新型コロナウイルス感染症の影響で中止とし、花火大会を実施

〔年間観光客総数〕

R4年（2022年1月～12月）：136,233人

【R3年（2021年1月～12月）：129,931人】

〔年間宿泊客数〕

R4年（2022年1月～12月）：3,914人

【R3年（2021年1月～12月）：4,516人】

〔ヒストリアテラス五木谷の来館者数〕

R4年度（2022年4月～3月）：6,573人

【R3年度（2021年4月～3月）：6,484人】

³ 五木源住宅…五木村産の葉枯らし天然乾燥材を使用した住宅。



ドローンファイト グランプリ 2022



ワンダフルワンドッグフェス

○新たな人材確保やスタッフのスキルアップなどによる観光客の受入体制の整備

ヒストリアテラス五木谷内にあるキナイカフェでは、令和4年度（2022年度）から運営主体が「マザー谷テラス」から「チームグリル MYOJIN」へ変更になったことに伴い、リニューアルオープンを行った。その際、村外から調理スタッフ（2人）を新たに雇用した。

また、（株）子守唄の里五木では、接客や安全性の向上に向けた研修を受講し、従業員のスキルアップや観光客の受入れ体制の強化につながった。



キナイカフェ



川辺川カヤック体験

○観光情報発信の強化

五木村観光情報センターでは、五木村ファンクラブ会員を対象に、会報誌を発行（年4回）し、村の旬な情報や各種イベントの紹介を行うとともに、12月には公式LINE アカウントを開設し、リアルタイムの情報が発信できる体制を構築した。

また、新たに五木村観光情報センターの窓枠に観光PR用モニターを設置し、村の風景や観光施設、イベントなどを動画で紹介した。

さらに、県政広報テレビ番組「くまモン！スマイルジャンプ！」（10月、12月年末特番）やNHK福岡「はっけんTV」（11月）等を活用して観光・物産等のPRを行ったほか、県福岡事務所を通して、村の観光パンフレットなどを福岡市内の施設（博多駅など）に配布し、村の魅力や観光情報を発信した。

人吉高等学校五木分校の生徒（村内居住者2名）を声優として「いつきちゃん」のアニメーション映像（観光PR・クリスマス・年末・新年用など）を製作し、五木村観光情報センターのモニターやYouTubeチャンネルにより、情報発信を行った。



観光 PR 用モニター
(五木村観光情報センター)



いつきちゃんのアニメーション

〔五木村ファンクラブ会員数〕

R4 年度（2022 年度）：321 人【R3 年度（2021 年度）：268 人】

○周辺市町村と連携した観光 PR などの実施

（一社）人吉球磨観光地域づくり協議会が取り組む観光地域ブランド「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町⁴」において、地域の独自資源を生かした食・土産・体験・宿の展開や、商品・イベントのマーケティング⁵の方向性、着地型旅行商品、イベントなどに関する事業を推進するため、7月に川辺川ワーキンググループ（五木村、相良村）を立ち上げた。

また、県及び県南 15 市町村などで構成する「くまもと県南広域観光連携推進会議」による県南地域の情報発信事業において、2人のインフルエンサー⁶を招請し、「溪流ヴィラ ITSUKI」の PR を行った。さらに、2、3月には、アウトドア用品専門店「スノーピーク」内のカフェレストラン（アミュプラザくまもと：熊本市）での、県南地域の食材を使った特別メニューの開発・提供の際においても、メニュー表に「溪流ヴィラ ITSUKI」の広告を掲載し、PR を行った。

さらに、九州中央山地の 2 県 7 市町村で構成する「九州中央山地観光推進協議会」が実施するインフルエンサー PR 事業に参加し、SNS を活用して村内観光施設の魅力を発信した。

⁴ 人吉・球磨 風水・祈りの浄化町…人吉球磨が本来持つ自然・神社仏閣・温泉等の独自の資源を「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町」という新たなコンセプトで再定義し、その認知度やブランド力の向上を図ることで「人吉球磨を日本を代表する地方にする」ことを目的とするプロジェクト。

⁵ マーケティング…価値ある製品を提供するための活動・仕組み。

⁶ インフルエンサー…世間に与える影響力が大きい行動を行う人物。

《トピック》

リニューアルした五木の祭り

令和4年度（2022年度）は、年間を通して五木村の魅力を楽しめるよう、祭りの開催回数を年1回（秋）から年4回（春夏秋冬）に変更した。

県の「地域プロジェクトアドバイザー事業」を活用して小山薫堂氏から受けたアドバイスを参考に、季節ごとにテーマ（春：新緑や森林、夏：清流川辺川、秋：紅葉や伝統芸能、冬：火）を決めて開催し、村内外から多くの参加者（合計約3,400人）が訪れた。

これまで開催していた子守唄祭は、芸能ショーがメインとなっていたが、令和4年度（2022年度）は、ツリークライミング、林業体験、バンジージャンプ、フットパス、伝統芸能、プロジェクションマッピング、ジビエ料理の提供などを実施し、村外の観光客はもちろん村民も楽しめる内容として好評だった。

将来的には、各種団体と連携を行いながら、様々なイベントとコラボすることにより、さらなる観光客の集客を図っていく予定である。



春祭り



花火大会



秋祭り



冬祭り

②物産振興

○主要農林産物の生産安定に向けた栽培支援

五木村の気候（多雨、寒暖の差が大きい）や、耕地の大部分が急傾斜地であるという地域特性を生かした特産品（くねぶ、ニンニク、シイタケ、ソバ、茶など）の生産維持・拡大に努めた。

くねぶは、高野地区の実証ほ場や生産者ほ場で、病害虫防除、施肥管理、せん定方法などについて講習会（6、10、2月）を開催した。

ニンニクは、ほ場ごとに生育状況の確認を行い、防除薬剤の選択や散布時期の判断について助言、指導を行った。さらに、くねぶ生産組合やニンニク生産組合に対して、生産資材（肥料等）の助成を行った。

6月には、子別峠地区で夏イチゴを栽培する生産者が、収穫した夏イチゴを五木村役場、五木村保健福祉センター、いつき保育園に贈呈された。夏イチゴは全国でも希少であり、子別峠地区（標高1,000m）の冷涼な気候を活かして栽培されている。

また、新規就農者が、子別峠地区の耕作放棄地を利用して新規作物（ブドウサンショウなど）の試験栽培を開始した。7月に、五木村農業委員会が栽培状況の視察を行うとともに、8月に、村と生産者が、ブドウサンショウの産地である甲佐町の取組み状況について視察研修を行った。

〔くねぶ出荷量（物産館出荷分）〕

R4年度（2022年度）：1,540kg 【R3年度（2021年度）：2,345kg】

〔ニンニク作付面積〕

R4年度（2022年度）：27a 【R3年度（2021年度）：37a】



くねぶ栽培講習会



ブドウサンショウ栽培状況



夏イチゴ贈呈式

○特産品を活用した既存商品の磨き上げと新商品の開発

(株)子守唄の里五木をはじめとする村内事業者が、くねぶを使用したサイダー、ソルト、ドロップ、チーズケーキなどを新たに商品化した。

また、村内事業者が、県アグリシステム総合研究所などのアドバイスを参考に、くねぶ紅茶や、くねぶ・緑茶・ほうじ茶のシフォンケーキ、スコーンを新たに開発した。五木村農林水産物協議会では、熊本大学と連携してくねぶハンドクリームを開発し、五木の秋祭りなどで試験販売やアンケート調査を実施した。今後、アンケート結果をもとに販路などの検討を行い、本格的な販売を開始する。

2月には、既存商品の磨き上げや新商品の開発に向けて、村内事業者を対象に有識者による加工講習会を3回開催し、延べ21人が参加した。



くねぶサイダー



くねぶソルト



くねぶドロップ



くねぶハンドクリーム

(くねぶを使用した新商品)

○特産品の魅力発信と販路拡大

4月に、五木村物産館出荷協議会が中心となり、ウクライナ支援のためのチャリティマルシェを開催し、五木産ソバの実を使用したウクライナ風スープや、ウクライナ国旗カラーのくねぶゼリー in ブルーソーダなどを販売した。

また、10、11月には、村の在来作物（赤大根、くねぶ）のPRや消費者との交流を深めるため、体験型ツアーを開催し、村内外から計28人が参加した。参加者は、生産者との交流や収穫体験、村民のおもてなしを楽しんだ後、持田成子氏（野菜ソムリエ上級プロ）による在来作物を使用した料理教室に参加した。

10月1日～30日には、「五木村フェア2022 in 阿蘇ミルク牧場」（西原村）を開催し、五木産食材を使用したランチバイキングの提供や、特産品の販売、観光PRを行った。併せて、林業を学ぶ体験イベントや木工製品の販売により、林業や五木産材のPRを行うとともに、五木産の茶や団子を味わえるオープンカフェやクイズ大会を開催した。

1月には、地元食材を利用した地元料理の伝承を目的として、五木東小学校5、6年生を対象に、くねぶ生産者による講義（栽培の工夫、食べ方など）や給食用食材（くねぶ加工品等）の提供を行った。

さらに、(株)子守唄の里五木をはじめとする村内事業者などが、「全国都市緑化くまもとフェア（花畑広場：熊本市）」（4月）、「城彩苑夜市（熊本市）」（8月）、「五木村物産フェア（国府の郷：福岡県みやこ町）」（9月）、「くまもと物産フェア（熊本駅アミュ広場：熊本市）」（10月）、「人吉球磨応援マルシェ（木の葉モール橋本：福岡市）」（11

月)において、特産品のPRと販売を行った。

五木村農林水産物協議会では、物産館「山の幸」の売上向上や販路拡大に向けて、(株)子守唄の里五木のホームページでの情報発信、通信販売体制の構築を進めた。

〔農林産品出荷額 (JA、物産館、マルコーフーズ (株)⁷出荷分)〕

R4年度 (2022年度) : 61,484 千円 【R3年度 (2021年度) : 19,996 千円】



ウクライナ支援マルシェ



くねぶゼリー in ブルーソーダ



五木村フェア 2022 in 阿蘇ミルク牧場

⁷ マルコーフーズ (株) …ジビエ処理加工施設 (八代市)。令和元年度 (2019年度) から、五木村からの鹿の枝肉出荷を開始。

《トピック》

特産品の魅力発信と販路拡大

(1) 令和4年度優良ふるさと食品中央コンクール等での受賞

村内事業者（山之一）が令和3年度（2021年度）に開発した「にんにく農家が作った 焼肉のたれ」が、令和4年度熊本県農産物加工食品コンクールで最高賞の金賞・県知事賞、令和4年度優良ふるさと食品中央コンクールで農林水産省大臣官房長賞を受賞した。

焼肉のたれには、自社栽培のホワイト6片ニンニクや、五木産のくねぶ、地はちみつなどを使用。受賞商品のPRや販路拡大のため、「秋の人吉球磨うまかもんフェア（株）ゆめマート熊本：県内26店舗）」や「くまもとファーマーズマルシェ（花畑広場：熊本市）」で販売を行うとともに、「スーパーマーケット・トレードショー（幕張メッセ：千葉県）」での商談会に参加した。



「にんにく農家が作った 焼肉のたれ」



受賞された中村氏ご夫妻（山之一）

(2) 五木村くねぶ応援大使の任命

五木村農林水産物協議会では、11月に、野菜ソムリエ上級プロの持田成子氏を「五木村くねぶ応援大使」として任命した。

持田氏は、これまでくねぶを使用した料理レシピの開発や、商品開発のアドバイザーとして貢献されており、今後も、くねぶの魅力を県内外に発信していただく予定である。



持田成子氏

(2) 林業振興

①「木のむら五木」の推進

○林業従事者の育成・確保につながる雇用支援

森林整備員の月給制を導入する林業事業体に対して助成を行うとともに、緑の雇用事業による各種研修制度を活用した新規就業者の人材育成を行った。

また、林業事業体の森林整備作業等を支援する企業の設立支援（個人グループ等の起業に係る準備経費の助成）を新たに開始し、林業従事者の安定的な雇用の確保に取り組んだ。

さらに、新たな担い手の確保のため、12月に南稜高等学校で開催された球磨地域林業就業説明会に五木村森林組合、五木村山村活性化協議会⁸等が参加し、高校生を対象に林業の取組みを説明した。

9月には、村内で南稜高校生を対象とした林業ガイダンスを開催し、ドローン講習や五木村猪鹿解体施設の見学、五木源（ごきげん）住宅（ミニチュアハウス）建築体験などを実施した。

〔月給制適用作業員数〕

R4年（2022年）： 32人（村内4事業体）

【R3年（2021年）： 28人（村内3事業体）】

○くまもと林業大学校県南校の運営支援

開校4期目となるくまもと林業大学校県南校では、8人の生徒が森林、林業の基礎から森林経営や安全衛生などを学んだ。県では、新たに高性能林業機械シミュレーターやドローン等を活用した講座を実施し、最先端技術の習得を図った。

村では、新たに専用の座学拠点を確保するとともに、五木村森林組合をはじめとする林業事業体と連携して、実習フィールドの提供や指導を行った。

さらに、村に移住して学ぶ生徒の住まいの確保や生活面での相談対応を行うなど、村を挙げた体制で支援を行った。

くまもと林業大学校県南校の卒業生1人が、村内の林業事業体に就職した。

〔くまもと林業大学校県南校卒業者数〕

R4年度（2022年度）： 8人 【R3年度（2021年度）： 8人】



南稜高校 林業ガイダンス



くまもと林業大学校県南校 実習風景

⁸ 五木村山村活性化協議会…五木産材の普及や山村活性化支援に取り組む任意団体（五木村、五木村森林組合、五木村森林づくり推進協議会、五木村林業研究クラブにより構成）。

○五木産材や産直住宅（五木源住宅・板倉住宅⁹）の販売促進

村内の木材流通や五木産材のPRを担う五木村山村活性化協議会が中心となり、葉枯らし天然乾燥材や五木源住宅の魅力を伝えるため、11月の五木の秋祭りに合わせて「五木源バスツアー」（五木源住宅（ミニチュアハウス）建築体験、林業用ドローン操作実演、木工体験等）を開催し、村外から50人が参加した。

また、12月には、五木村物産館出荷協議会やNPO法人逢桜の里（あいらのさと）と連携し、小学生など45人参加のもと、村の林業や木材に関する講習、五木産食材（ジビエ、くねぶ）を使用した料理を提供した。

10月には、「森林の学校 in かわべ川」（球磨川流域水土里ネット連携協議会主催）が五木村で開催され、小学生など89人参加のもと、森林学習や木工体験、ツリークライミングなどを実施した。

2月には、五木源住宅完成見学会（熊本市）を開催した。

さらに、葉枯らし天然乾燥材の端材を活用するため、村外の福祉団体と連携してミニチュアツールキットを製作し、イベントなどの木工体験で活用した。

〔五木源住宅の新築数〕

R4年度（2022年度）：13棟【R3年度（2021年度）：10棟】

※平成26年度（2014年度）～令和4年度（2022年度）延べ87棟



五木源バスツアー



森林の学校 in かわべ川



（ツールキット）



（完成品）

ミニチュア

○モデル林整備による研修や体験、観光の場としての活用

林業担い手を対象とした森林整備研修、子どもを対象とした林業学習や林業体験、観光の場として活用する森林散策や森林浴など、村有林等を活用できるよう、五木村モデル林森林整備計画を策定し、整備を開始した。

11月には、五木村モデル林森林整備検討会構成員など11人が、森林セラピー¹⁰に取り組んでいる鳥取県智頭町などの視察研修を実施し、今後の取組みの参考とした。

⁹ 板倉住宅…木造住宅のうち、柱・梁などの構造材の他に、床や壁、屋根に杉などの厚板を用いたもの。

¹⁰ 森林セラピー…科学的な証拠に裏付けされた森林浴（森を楽しみながらこころと身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指す）。

○スマート林業の推進

五木村森林組合と村内事業者（1者）が、造林施業（苗木・獣害防止用資材などの運搬）に林業用ドローンを活用したことにより、高齢化が進む林業従事者の労力軽減や施業の省力化につながった。

また、林業ガイダンスやイベントなどで林業用ドローンの実演を行い、高校生や子ども達に最先端技術の紹介を行った。

②森林管理

○山地災害防止機能をはじめとした、森林の多面的機能の維持増進に向けた民有林の適正な整備

森林施業を確実に実施し、多様で健全な災害に強い森づくりを行うため、「五木村森林整備計画」に基づいて実施する間伐や作業道整備などに対して助成を行い、木材生産の基盤整備を支援した。

また、伐採と比べて取組みが進まない再生林の推進や林業従事者の危険作業への手当支給を支援するため、森林環境保全整備事業（国・県補助）に対し、村が独自に補助率の嵩上げを行い、再生林などにおける事業者の負担額をゼロにした。

〔間伐面積〕

R4年度（2022年度）： 47.13ha 【R3年度（2021年度）： 16.62ha】

〔再生林面積〕

R4年度（2022年度）： 34.56ha 【R3年度（2021年度）： 27.53ha】

〔森林組合の木材生産量〕

R3年度（2021年度）： 18,571 m³【R2年度（2020年度）： 12,105 m³】

（五木村森林組合 業務年度 6月1日～翌年 5月31日）

○森林経営管理制度¹¹に基づく意向調査の実施

五木村森林経営管理組合¹²が中心となり、森林経営管理制度に基づいて、令和2年度（2020年度）から村内を11カ所に区分し、森林所有者に森林経営管理方法の意向調査を実施している。令和4年度（2022年度）は、16集落において100件（1,897ha）の意向調査を行った。

意向調査の結果、7件（46.6ha）の森林所有者が村への管理委託を希望。個別訪問や現地調査を実施した結果、林業経営に適した森林であったため、五木村森林整備計画に掲載し、森林所有者が森林組合に施業委託することとなった。

また、林業経営に適さず、村への管理委託が困難な森林などを対象として、林業事業者への施業委託の補助制度（五木村公益的森林機能整備事業）を新たに開始した。

¹¹ 森林経営管理制度…管理が適切に行われていない森林について、市町村が森林所有者の意向を確認後、森林所有者の委託を受け、民間の林業経営者に再委託するなどにより、林業経営と森林の管理を実施する制度。

¹² 五木村森林経営管理組合…村と五木村森林組合で構成される森林経営管理制度の運用に取り組む事務組織（五木村産業振興課に設置）。森林所有者と林業経営者をつなぎ、適切なゾーニング（経済林・生活林・景観林・保全林）と管理を行うことで、森林の荒廃などを防ぐ。

○有害鳥獣被害防止対策の確実な実施とジビエ（鹿肉）の活用

森林や農地の鳥獣侵入防止柵などの整備費用の助成を行った。併せて、鳥獣被害に対する村民からの相談を受けるとともに、頭地地区に出没したサル・アナグマの追い払い等の現地対応を行った。

五木村猪鹿解体処理施設では、搬入されたシカの解体、精肉処理を行い、物産館「山の幸」や食肉卸売業者（八代市）などに出荷した。物産館「山の幸」では、鹿ソーセージなどの販売を行うとともに、県内外の飲食店に鹿肉を販売し、ジビエ料理として提供された。

また、らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場（西原村）と連携し、シカの出汁やチャーシューなどを使用した「おい鹿ラーメン」を開発し、「五木村フェア 2022 in 阿蘇ミルク牧場」で試食会を開催するとともに、村内事業者が五木の秋祭りで販売を行った。冬祭りでは、参加者約 100 人が、ジビエ（シカ・イノシシ）などのバーベキューを楽しんだ。

さらに、「くまもとジビエ料理フェア 2022 in 銀座熊本館（東京都）」や「居酒屋 JAPAN「焼肉ビジネスフェア」（東京都）」において、五木産の鹿肉を使用した鹿ソーセージ等の販売や商談が行われた。



おい鹿ラーメン



鹿ソーセージ（物産館「山の幸」で販売）

〔有害鳥獣捕獲数〕

R4 年度（2022 年度）：シカ 1,407 頭、イノシシ 57 頭、サル 32 頭

【R3 年度（2021 年度）：シカ 1,354 頭、イノシシ 65 頭、サル 16 頭】

〔物産館での鹿肉販売額〕

R4 年度（2022 年度）：2,367 千円 【R3 年度（2021 年度）：2,531 千円】

○木の駅プロジェクト¹³の推進

切り捨て間伐や被災倒木など、林地に残された木材を回収して、端材の有効活用と地域経済の活性化（薪ボイラー燃料供給、地域通貨流通）を図った。

また、林地残材の回収促進に向けて共同搬出作業を実施した。

〔林地残材集荷量〕

R4 年度（2022 年度）：236 t 【R3 年度（2021 年度）：319 t】

〔木守券（こもりけん）¹⁴発行金額〕

R4 年度（2022 年度）：1,416 千円 【R3 年度（2021 年度）：1,914 千円】

¹³ 木の駅プロジェクト…林地に残された木材を回収し、その買取りを地域通貨で行うことで、経済の活性化を図るもの。五木温泉「夢唄」の薪ボイラーの燃料としても利用されている。

¹⁴ 木守券（こもりけん）…村内の事業所及び商店のみで利用可能な地域通貨。木材 1 トンあたり 6,000 円分を発券。

《トピック》

1 モデル林整備による研修や体験、観光の場としての活用

(1) モデル林整備の開始

五木村モデル林森林整備計画に基づき、国有林（中村地区）の間伐施業や作業道の補修、遊歩道の整備、ゲートの設置などを実施した。次年度以降は、さらに整備を本格化するとともに、モデル林と併せて村内の自然公園（大通峠公園、端海野キャンプ場、大滝自然公園、白滝公園）の整備を行い、森林や公園を周遊する観光モデルコースの構築を行う予定である。



モデル林整備状況



白滝公園

(2) 先進地研修（鳥取県智頭町など）の実施

11月に、森林資源を生かしたまちづくりとして森林セラピーに取り組む鳥取県智頭町などの視察研修を実施した。

智頭町では、森林セラピー協議会の設立や森林セラピーガイドの養成などを行い、平成22年（2010年）に町全体が「森林セラピー基地」として認定され、現在は町内に6つのコースを設けている。

今後、智頭町の取組みを参考としながら、森林浴や森林セラピーに取り組む予定である。



森林セラピー（鳥取県智頭町）

2 急傾斜地対応の高性能林業機械を利用した伐採システムの実演会開催

11月に、県有林下梶原団地において、熊本県、五木村、住友林業（株）（協力：五木村森林組合、日本キャタピラー合同会社）の共催で、急傾斜地対応の高性能林業機械を利用した伐採システム「ウインチアシスト機械（テザー）」の実演会を開催し、村内外の林業関係者等72人が参加した。

テザーにワイヤーロープでけん引されたハーベスタやフォワーダに試乗した参加者2人からは、「通常は機械で作業できない斜面を安心して運転することができた」「アシストされているため、非常に安心感があった」などの感想があった。



テザーにけん引されるフォワーダ

(3) 商工業振興

事業規模拡大と起業支援

○村内事業者の事業拡大や生産性向上の支援

村内の商工業者等が行う業務の効率化に係る費用や施設整備の助成（パソコン購入費、レジ購入費等）を行った。

〔業務の効率化に係る費用や施設整備に係る助成金実績〕

R4年度（2022年度）：3件【R3年度（2021年度）：6件】

※R3年度は業務の効率化に係る費用のみが対象

○起業の支援

村内の商工業者等が新たに起業を検討するための費用や施設整備の助成（プレハブ設置費や備品購入費）を行った。

〔新たに起業を検討するための費用や施設整備に係る助成金実績〕

R4年度（2022年度）：1件【R3年度（2021年度）：1件】

○村内事業者の持続的な経営に向けた支援

村内の商工業者等が行う業務改善に係る費用の助成（資格取得費）を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた村内事業者に対し、事業を継続するための給付金を交付した。

1月には、商工会において、将来を見据えて持続的な経営ができるよう村内事業者向けの研修を実施した。

〔業務改善に係る費用や施設整備に係る助成金実績〕

R4年度（2022年度）：1件【R3年度（2021年度）：—】

※R4年度新規

〔五木村新型コロナウイルス感染症対策経営持続化給付金実績〕

R4年度（2022年度）：12件【R3年度（2021年度）：25件】

《トピック》

1 新型コロナウイルス感染症への対応のための商工業者の支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業売上げが減少した村内事業者に対して、村独自の経営持続化給付金を交付した。

また、村内事業所で使用できる「いつきちゃん商品券（15,000円分）」を村民全員に配布し（配布人数：1,011人）、村民全体の生活支援とともに、落ち込んだ村内経済の回復に寄与した。



いつきちゃん商品券

2 若手事業者との意見交換会の実施

12月、2月に村内の若手事業者と村長との意見交換会を実施し、若手事業者から店舗改修等や短期（お試し）住宅の環境整備による働きやすい環境づくり等の意見があった。その意見をもとに課題の解決に向けて、令和5年度の施策・取組みに反映する。



若手事業者との意見交換会

3 新たに「花林薬茶房（瀬目公園店）」がオープン

6月に瀬目公園内に薬膳関連や地元特産の食材・弁当（軽食含む）・お茶等を販売する花林薬茶房（瀬目公園店）がオープンし、村内に新たな店が誕生した。

オーナーは福岡県からの移住者で、薬膳料理教室も開催している。



花林薬茶房

(4) 移住・定住の促進

①移住・定住の促進

○ホームページなどを活用した情報発信

村の移住・定住支援サイトや移住・定住専門誌などを活用し、村の魅力や暮らしに関する情報、移住者の体験談の紹介を行った。

また、動画によるお試し住宅の紹介や、空き家バンクに登録されている住宅情報などの発信を行った。

さらに、五木村の現地見学を希望される方に対し、住まいや村内事業所を案内する移住体験ツアーを実施した。

〔移住体験ツアー回数〕

R4年度(2022年度)：14回【R3年度(2021年度)：11回】

○イベント参加による移住の促進

県が主催する移住関連のイベントに参加し、五木村の魅力をPRした。

12月には、県が開催した移住相談会(大阪府)において、五木村複業協同組合のマルチワーカーがトークイベントに参加し、五木村の魅力や村での生活の様子などを紹介したほか、村による個別相談対応を行った。

〔参加イベント〕

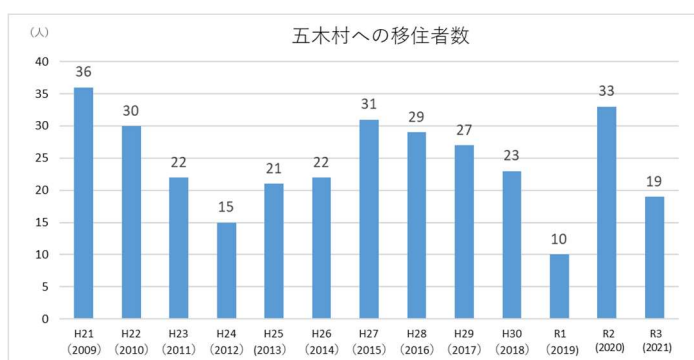
県主催イベント：大阪(12月10日)、
オンライン(8月27、28日、12月17日)

〔移住者数〕※Uターン者含む

R4年度(2022年度)：20人【R3年度(2021年度)：19人】



移住相談会(大阪)



(出典)五木村調査

○国の「特定地域づくり事業協働組合制度¹⁵」を活用した移住・定住の促進

令和3年(2021年)9月に「特定地域づくり事業協同組合」として県内で初認定された「五木村複業協同組合」を支援し、村内事業者の担い手不足の解消、新たな雇用の創出による移住・定住を促進した。

¹⁵ 特定地域づくり事業協同組合制度…過疎地域などの人口急減地域において、地域の担い手を確保する取組みを推進するため、マルチワーカー(季節ごとの労働需要などに応じて複数の事業者の事業に従事する労働者)を協同組合で雇用し派遣する制度。

○移住者が定住するためのサポートの強化

移住者同士が気軽に語り合い、つながりを作ることを目的として、7月に、お試し住宅交流スペースで移住者交流会を開催した。交流会には5世帯（7人）が参加し、七夕の飾りつけを行いながら、移住者同士の会話を楽しんだ。

また、移住者を含む村民同士の交流の場として映画上映会を10、2月に開催し、30人が参加した。コロナ禍でもできる交流の場として好評を得た。



移住者交流会

②住まいの確保

○空き家バンクの登録推進

村内の空き家の状況を把握するとともに、所有者へ空き家バンクへの登録を呼びかけた。

また、新たに空き家物件の修繕に係る費用の助成を行うとともに、入居契約成立時に住宅の清掃などに要する費用を助成し、空き家バンクの活用を推進し、移住者の住まいの確保に努めた。

〔空き家バンク新規登録数〕

R4年度（2022年度）：3件 【R3年度（2021年度）：7件】

R5.3時点での全登録数：15件

《トピック》

オンライン移住イベント（県主催）への参加

8月27、28日に県内全45市町村が参加する大規模なオンライン移住相談会「熊本ONLINE移住祭」に参加し、村の魅力や移住に関する情報提供を行い、村への移住促進を図った。相談会では、起業やテレワークなどをテーマにしたグループトークやライブ配信で市町村の魅力を伝えるリレートーク、市町村個別相談会などが行われ、移住に興味を持つ方など197組が参加した。

12月17日には、県内5市町村による「熊本ONLINE 寄合」に村、五木村複業協同組合が参加し、五木村での仕事や生活の様子、移住体験談などを紹介した。イベントでは、「熊本だからできる新しいライフスタイル」をテーマに、市町村と参加者（11組）によるグループトークが実施された。



《トピック》

「五木村複業協同組合」の取組み

「五木村複業協同組合」では、村内の9事業者が組合員となり、県内外からの移住者3人を協同組合のマルチワーカーとして雇用している。

各事業所の季節ごとの労働需要などに応じて派遣を行っており、組合員の繁忙期の労働力確保や移住者の雇用場の確保につながっている。

【五木村複業協同組合 組合員】

- ・五木とうふ店
- ・（有）五木屋本舗
- ・GMT協同組合
- ・（株）子守唄の里五木
- ・園田農林（株）
- ・つばめタクシー（株）
- ・（株）日添
- ・（有）丸一産業
- ・民宿ロジ山小屋
(R5年3月末時点)

【マルチワーカー(1名)の勤務事例】

勤務日		勤務先	内容
10/1	土	(株)子守唄の里五木	レジ業務
10/2	日	休日	
10/3	月	五木とうふ店	配達・製品化
10/4	火	(有)五木屋本舗	工場・製品化
10/5	水	(有)五木屋本舗	工場・製品化
10/6	木	休日	
10/7	金	GMT協同組合	実習生サポート・環境整備・書類整理
10/8	土	(株)子守唄の里五木	レジ業務
10/9	日	休日	
10/10	月	五木とうふ店	配達・製品化
10/11	火	(有)五木屋本舗	工場・製品化
10/12	水	(株)子守唄の里五木	レジ業務
10/13	木	(株)子守唄の里五木	除草作業他(溪流ウイルスITSUKI)
10/14	金	GMT協同組合	実習生サポート・環境整備・書類整理

(5) 脱炭素社会の実現に向けた取組み

○二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

令和4年(2022年)3月に宣言した「五木村ゼロカーボンシティ2050」に基づき、再生可能エネルギーの導入に向けた調査検討を行い、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用できる脱炭素先行地域の適用申請に向けて、再エネ導入戦略及び脱炭素先行地域計画の策定を行っている。



五木村脱炭素社会調査検討委員会

○森林吸収量のクレジット化(J-クレジット)¹⁶

森林を活用したJ-クレジット創出に向けて、県の「森林吸収量クレジット化推進事業」を活用し、プロジェクト計画を策定した。今後プロジェクト計画の登録や現地調査(報告書の作成)等をした上で、J-クレジットの認証・販売等を行う予定。

¹⁶ 森林吸収量のクレジット化(J-クレジット)…間伐などの森林の適切な管理を行うことによるCO2吸収量をクレジットとして国が認証したもの。クレジットを企業等へ売却することで、売却益を得ることができる。

(6) その他の取組み

○高齢者への支援

介護予防対策として、「げんぞう会（村内8カ所、各月2回）」や「脳いきいき教室」を開催した。

また、高齢者の移動支援、買い物支援、安否確認（週1回）を兼ねた給食サービスの実施、小規模多機能型居宅介護事業所の宿泊利用に対する助成などを実施した。その他、令和3年度（2021年度）から引き続き、75歳以上の一人暮らし、二人暮らし世帯を対象に、シルバー人材センターと連携した生活応援事業を実施した。

〔げんぞう会参加者〕

R4年度（2022年度）： 延べ736人（延べ124回開催）

【R3年度（2021年度）： 延べ711人（延べ120回開催）】

〔脳いきいき教室〕

R4年度（2022年度）： 延べ633人（延べ38回開催）

【R3年度（2021年度）： 延べ465人（延べ33回開催）】

〔移動支援（電動カート利用者）〕

R4年度（2022年度）： 延べ43人

【R3年度（2021年度）： 延べ40人】

〔買い物支援〕

R4年度（2022年度）： 延べ33人

【R3年度（2021年度）： 延べ86人】

〔給食サービス利用数〕

R4年度（2022年度）： 1,500食

【R3年度（2021年度）： 1,167食】

〔小規模多機能型居宅介護事業所利用者〕

R4年度（2022年度）： 延べ1,951人

【R3年度（2021年度）： 延べ2,520人】

〔シルバー人材センターによる生活応援〕

R4年度（2022年度）： 延べ145人

【R3年度（2021年度）： 延べ120人】

《トピック》

1 買い物支援

自宅から出て買い物に行くことが困難な状況にある地域の高齢者に対して、社会福祉協議会（村から受託）や五木の友の職員が商品の注文を受け自宅まで商品を届ける買い物支援サービスを実施した。買い物支援と併せて安否確認も行っており、生活の利便性向上を図るとともに、住み慣れた地域で安心して元気に過ごすことができるよう支援している。

2 シルバー人材センターによる生活応援

75歳以上の一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯を対象に、シルバー人材センターの生活応援サービスを無料で受けられるお助けチケットを配布し、家事や掃除など、高齢者の日常生活の支援を行った。

＜主な生活支援の内容＞

家事のお手伝い、外出時の援助・食事や食材の確保
片づけ、家回りの手入れ、ちょっとしたお手伝い など

3 ハード事業

(1) 安全・安心な生活基盤整備のための道路ネットワーク整備

道路ネットワークを整備し、交通アクセス向上による林業をはじめとした産業振興や避難路確保、コミュニティ維持などを図った。

① 国道 445 号（九折瀬工区）の整備

事業名	事業主体	事業実績
国道 445 号（九折瀬工区）整備事業	県	・ 国道 445 号（九折瀬工区）の道路整備（川辺川右岸側） 鶴橋上部工事、道路拡幅工事、新神屋敷橋（仮称）橋脚工 1 基

国道 445 号（九折瀬工区）の整備



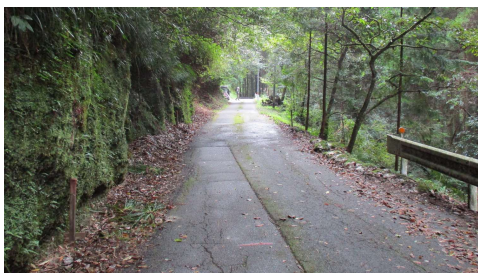
② 県道の整備

事業名	事業主体	事業実績
県道宮原五木線（小椎葉工区）落石対策事業	県	・ 高エネルギー吸収型落石防護柵設置工の実施
県道宮原五木線（河俣工区）道路改良事業	県	・ 道路改良工事に向けた地質調査・道路設計の実施
県道宮原五木線（河俣工区）凍結抑制対策事業	県	・ 縦溝安全溝（グルーピング工）の実施
県道小鶴原女木線（小鶴工区）道路改良事業	県	・ 道路拡幅（L=30m） ・ 災害復旧工事の実施

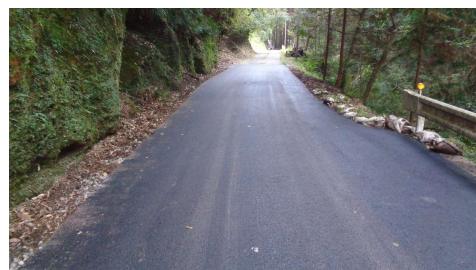
③ 村道の整備

事業名	事業主体	事業実績
村道折立線道路改良事業	村	・ 村道折立線の道路改良工事
村道改良修繕等事業	村	・ 村道の橋梁等点検（17橋）、改良・補修及び維持修繕（5橋、10路線）
村道梶原線落石対策事業	村	・ 村道梶原線の落石対策工事
村道鳶山線落石対策事業	村	・ 村道鳶山線の落石対策工事
村道白岩戸線道路修繕事業	村	・ 村道白岩戸線の道路修繕工事
村道大通線道路補修改良事業	村	・ 村道大通線の路面性状調査
村道端海野線道路補修改良事業	村	・ 村道端海野線の路面性状調査
市町村災害復旧受託事業（村道白蔵線）	県	・ 10月に県と村で工事代行に係る協定書を締結

【村道平野線 村道改良修繕等事業】



着工前

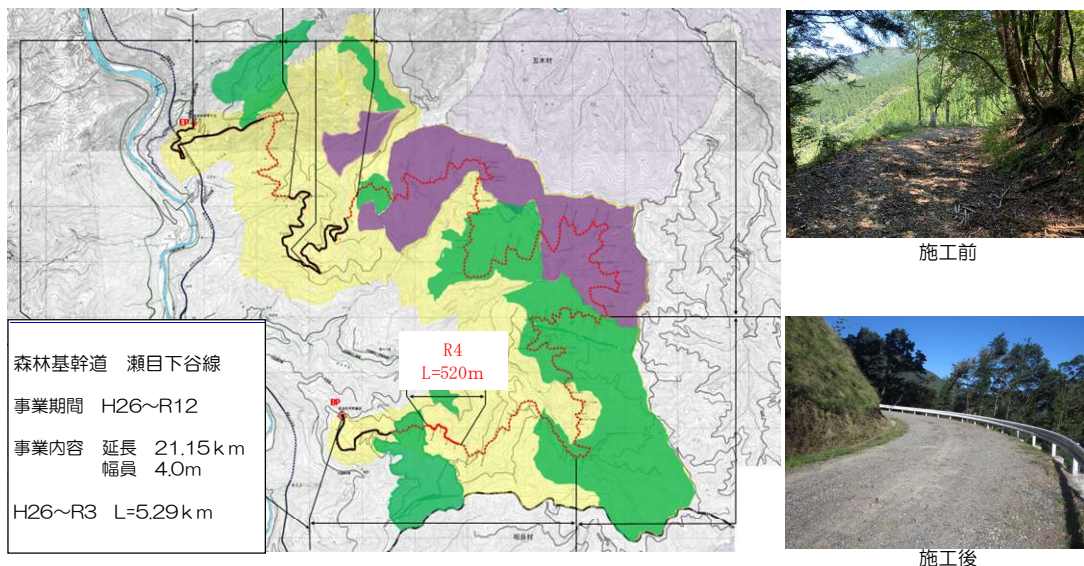


竣工

④ 林道の整備

事業名	事業主体	事業実績
林道改良修繕事業	村	・ 林道の維持修繕（5路線）
林道開設（森林基幹道瀬目下谷線）	県	・ 森林基幹道瀬目下谷線の開設（県代行事業）

【瀬目下谷線(全体図)】

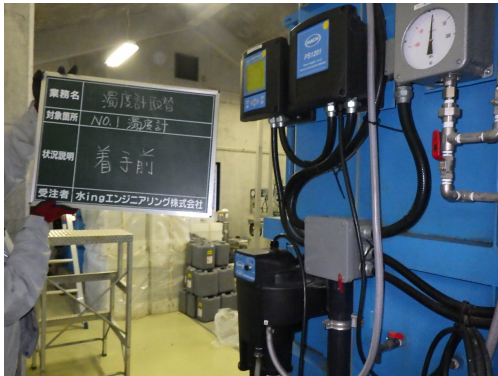


(2) 安全・安心な生活環境づくりのための施設整備

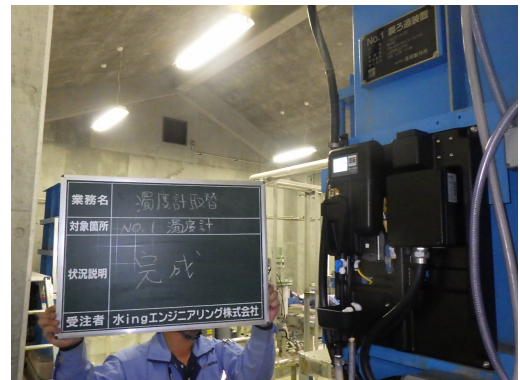
日常生活に必要な水道施設の維持修繕や村営住宅の機能の充実など、安心して住み続けることができる生活環境の向上を図った。

事業名	事業主体	事業実績
水道施設改修事業	村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭地給水施設ろ過水濁度計取替修繕 ・ 頭地給水施設膜ろ過膜取替洗浄修繕 ・ 頭地給水施設次亜塩素ポンプ取替工事 ・ 簡易水道施設（小鶴地区）の改修 ・ 簡易水道施設（宮園、小鶴地区）水道自動通報設備整備 ・ 代替地上下水道施設（下谷地区）水道自動通報設備整備
下谷団地駐車場改良事業	村	・ 村営住宅下谷団地の駐車場を改良
道の駅の拠点性・集客力向上促進事業	県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅「子守唄の里五木」の公衆トイレの改築設計 ・ トイレ改修工事に向け、仮設トイレの設置や準備工事に着手

【頭地給水施設ろ過水濁度計取替修繕】



着工前

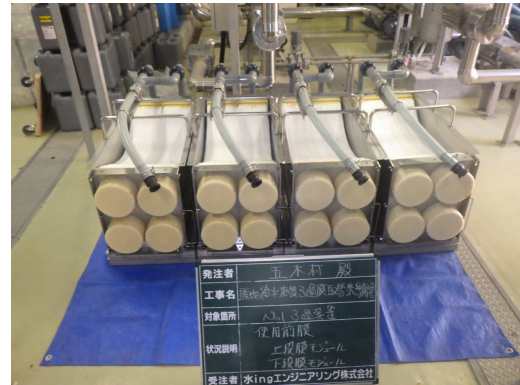


竣工

【頭地給水施設膜ろ過膜取替洗浄修繕】



着工前



竣工

【簡易水道施設(宮園)水道自動通報設備整備事業】



着工前



竣工

【下谷団地駐車場改良事業】



着工前



竣工

(3) その他の取組み

事業名	事業主体	事業実績
宅地かさ上げ事業 河川改良事業	県	・ 9月に地元説明会を開催し、11月から川辺川・梶原川の現地測量に着手
河川掘削事業	県	・ 非出水期に川辺川の宮園地区や梶原川の竹の川地区などで、河川内の堆積土砂を撤去
流域保全総合治山事業	県	・ 10月から事業計画に係る調査を実施し、3月に全体計画を策定
治山激甚対策特別緊急事業	県	・ 災害復旧工事の実施設計が完了し、工事発注（2箇所）に向けた準備を実施
砂防メンテナンス事業	県	・ 横手谷川堰堤3の副堰堤工1基を新設

【参考】過疎対策事業債の借入額の3割相当分に係る振興交付金活用累計額

R4 年度末時点： 349,560 千円

参考資料

各種データ等

(1) 人口の推移

五木村及び県、類似地域等の人口推移について比較

① 人口の推移

(人)

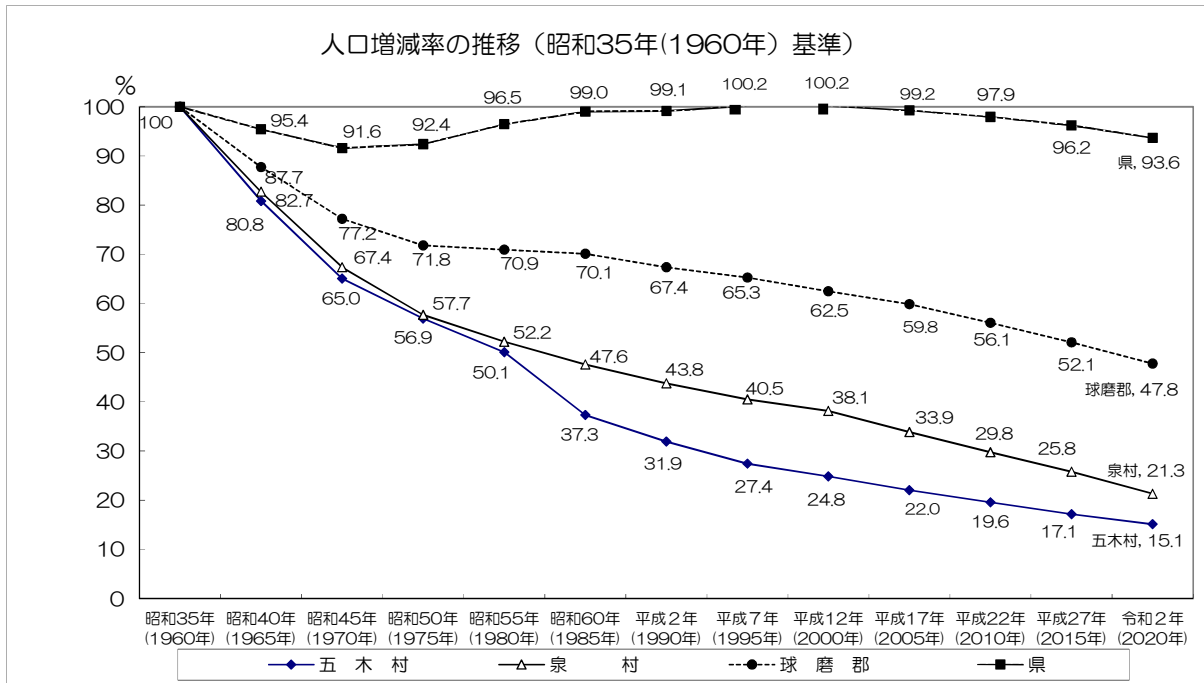
	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
五木村	6,161	4,981	4,006	3,507	3,086	2,297	1,964	1,687	1,530	1,358	1,205	1,055	931
泉村	7,281	6,021	4,904	4,200	3,803	3,466	3,187	2,952	2,775	2,466	2,167	1,877	1,551
球磨郡	105,468	92,523	81,421	75,744	74,785	73,952	71,054	68,824	65,883	63,111	59,116	54,940	50,372
県	1,856,192	1,770,736	1,700,229	1,715,273	1,790,327	1,837,747	1,840,326	1,859,793	1,859,344	1,842,140	1,817,426	1,786,170	1,738,301

② 増減率(昭和35年(1960年)を基準とする)

(%)

	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
五木村	100	80.8	65.0	56.9	50.1	37.3	31.9	27.4	24.8	22.0	19.6	17.1	15.1
泉村	100	82.7	67.4	57.7	52.2	47.6	43.8	40.5	38.1	33.9	29.8	25.8	21.3
球磨郡	100	87.7	77.2	71.8	70.9	70.1	67.4	65.3	62.5	59.8	56.1	52.1	47.8
県	100	95.4	91.6	92.4	96.5	99.0	99.1	100.2	100.2	99.2	97.9	96.2	93.6

※ 泉村(現八代市)については、五木村の類似地域であることから、比較対象として掲載
 なお、泉村は、平成17年(2005年)8月に八代市と合併(現八代市)



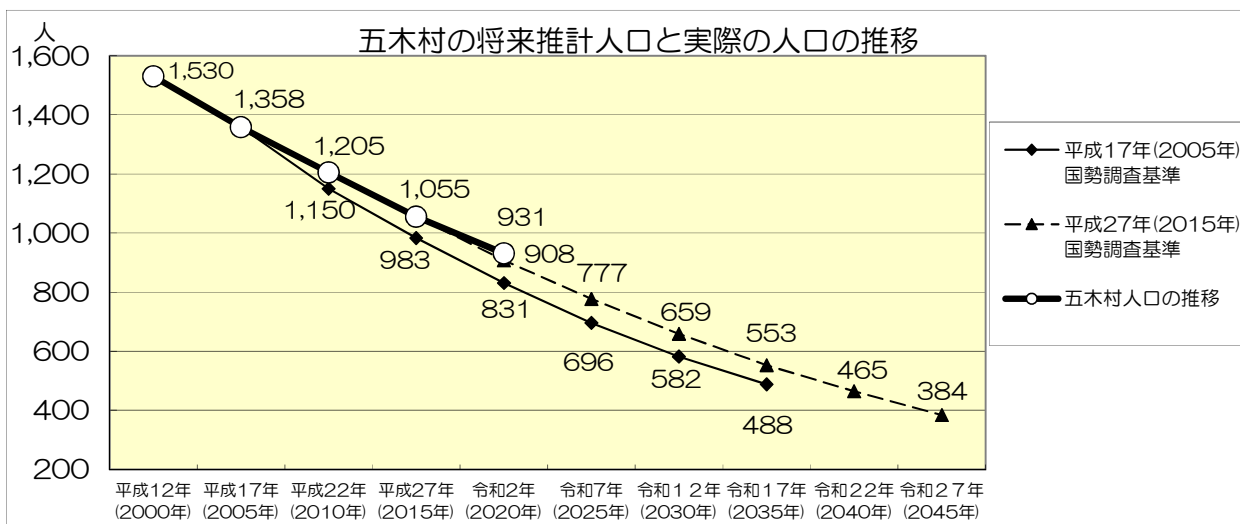
(資料) 国勢調査資料

(2) 五木村人口推計と実際の人口の推移等

○五木村人口推計と実際の人口の推移

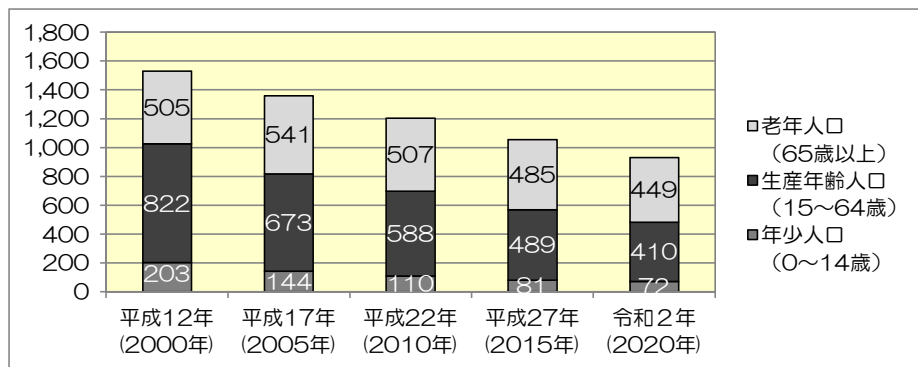
(人)

	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
平成17年(2005年) 国勢調査基準		1,358	1,150	983	831	696	582	488		
平成22年(2010年) 国勢調査基準			1,205	1,046	918	799	684	586	505	
平成27年(2015年) 国勢調査基準				1,055	908	777	659	553	465	384
五木村人口の推移	1,530	1,358	1,205	1,055	931					

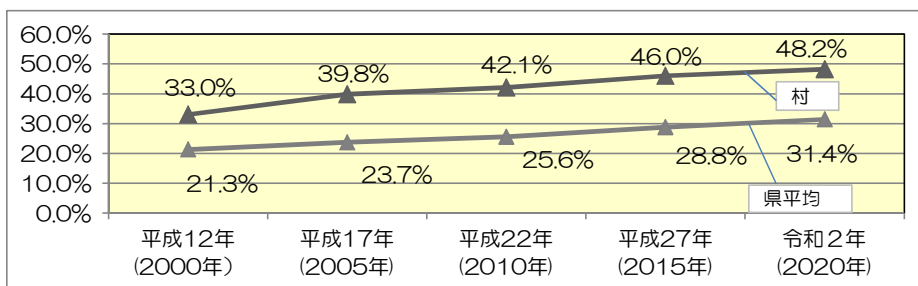


(資料) 日本の地域別将来推計人口
国立社会保障・人口問題研究所

○五木村年齢3区分別人口の推移



○五木村高齢化率の推移



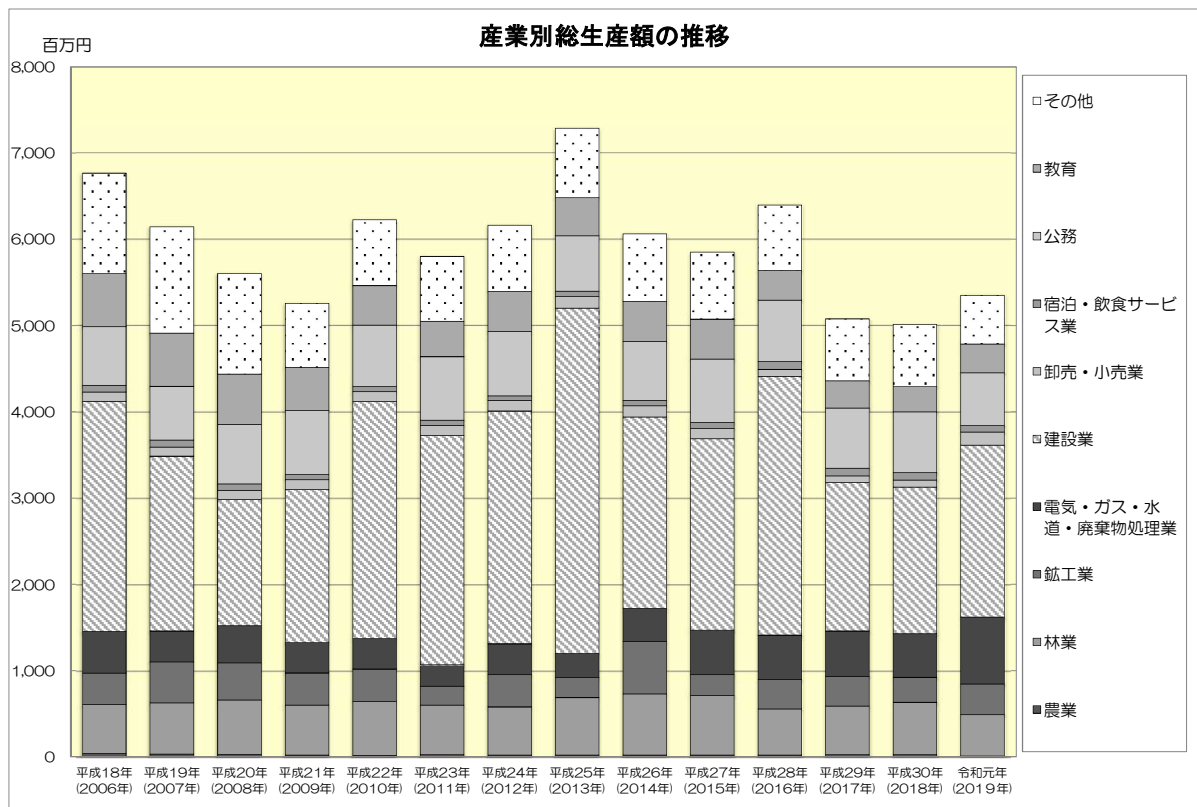
(資料) 国勢調査資料

(3) 産業別総生産額の推移

(百万円)

	平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)
農業	39	31	26	21	18	23	19	19	19	19	18	24	24	9
林業	567	593	633	579	622	574	559	668	710	692	537	565	607	480
鉱工業	364	478	429	372	377	222	375	230	609	241	341	345	290	357
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	484	357	430	352	352	247	358	280	383	514	515	526	508	777
建設業	2,669	2,027	1,465	1,774	2,749	2,660	2,697	4,006	2,218	2,220	3,000	1,720	1,699	1,991
卸売・小売業	106	106	107	114	117	118	124	134	130	120	80	78	79	153
宿泊・飲食サービス業	80	81	76	59	58	61	53	62	63	72	90	90	88	73
公務	676	622	689	744	711	735	747	641	685	732	714	699	706	614
教育	618	618	583	499	459	410	465	443	462	463	345	312	293	334
その他	1,164	1,234	1,166	743	763	753	769	804	785	778	758	720	721	565

※その他：水産業、運輸・郵便業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、保健衛生・社会事業、その他のサービスの合計



(資料) 令和元年度(2019年度)市町村経済計算報告書

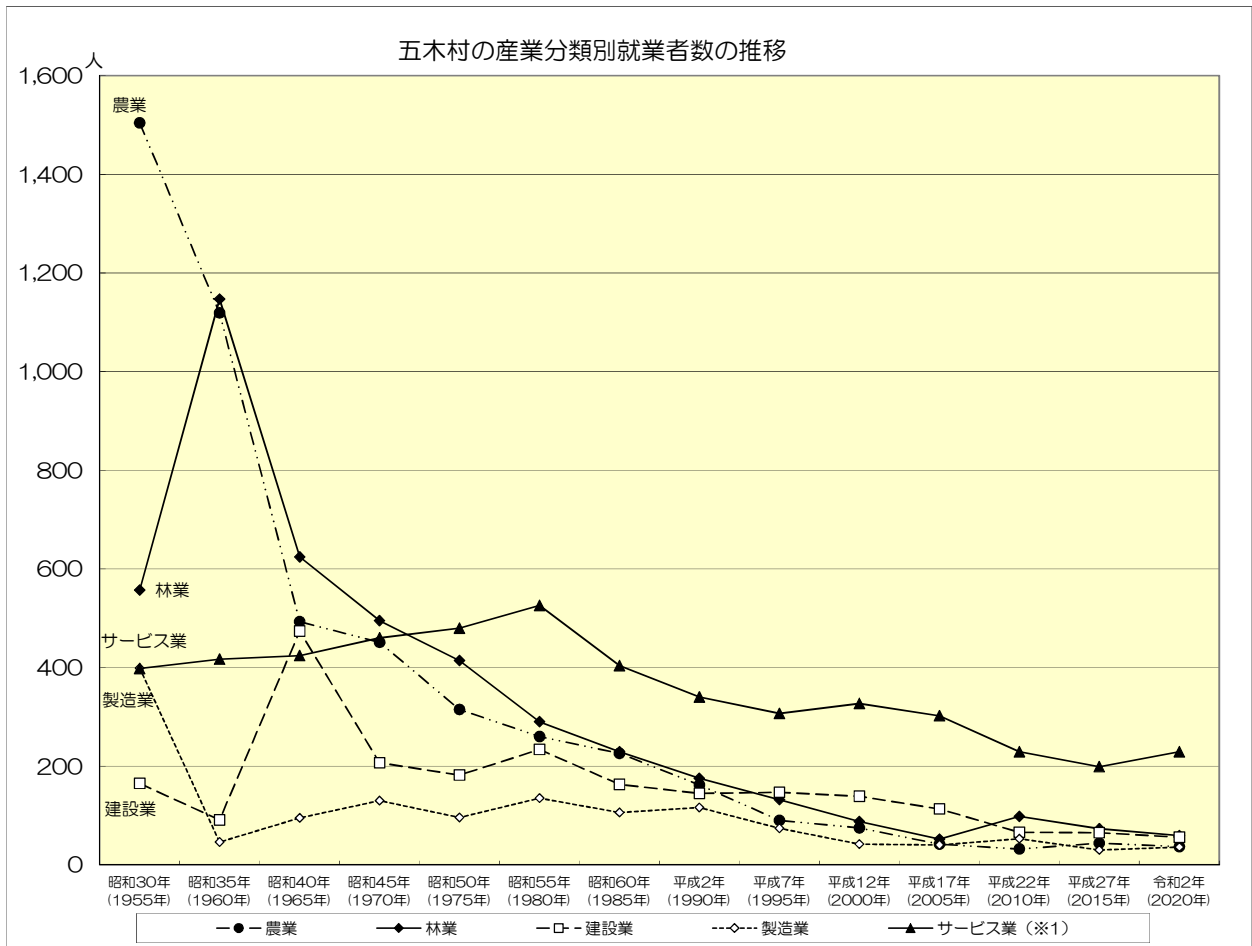
(4) 五木村における産業分類別就業者数の推移

(人)

	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
農業	1,504	1,119	493	451	315	260	226	162	90	75	42	32	44	37
林業	557	1,147	624	495	414	290	229	175	132	88	52	98	73	59
鉱業、採石業、 砂利採取業	12	28	53	38	56	29	18	11	19	19	1	1	6	3
建設業	165	91	474	207	182	234	163	145	147	139	113	66	65	56
製造業	399	46	95	130	96	135	106	116	74	42	40	53	30	36
サービス業(※1)	398	417	424	460	480	526	404	340	307	327	302	229	199	229
公務(他に分類される ものを除く)	30	34	56	83	94	97	74	76	110	70	52	59	79	66
その他(※2)	0	1	0	8	2	0	0	1	2	3	1	4	3	2
合計	3,065	2,883	2,219	1,872	1,639	1,571	1,220	1,026	881	763	603	542	499	488

※1 サービス業：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス業、サービス業（他に分類されないもの）

※2 その他：漁業、分類不能の産業



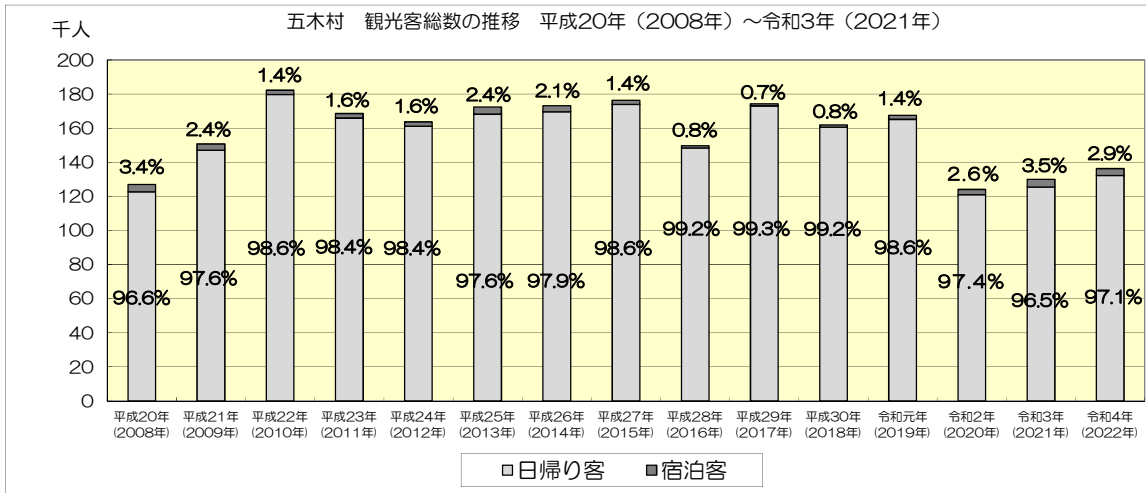
(資料) 国勢調査資料

(5) 観光客総数の推移

五木村の観光客総数（日帰り客、宿泊客の割合）

(人)

	平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
日帰り客	122,656	147,103	179,746	165,935	161,152	168,228	169,583	174,000	148,385	173,078	160,543	165,160	120,949	125,415	132,319
宿泊客	4,295	3,586	2,461	2,622	2,559	4,165	3,617	2,444	1,226	1,193	1,261	2,347	3,168	4,516	3,914
合計	126,951	150,689	182,207	168,557	163,711	172,393	173,200	176,444	149,611	174,271	161,804	167,507	124,117	129,931	136,233

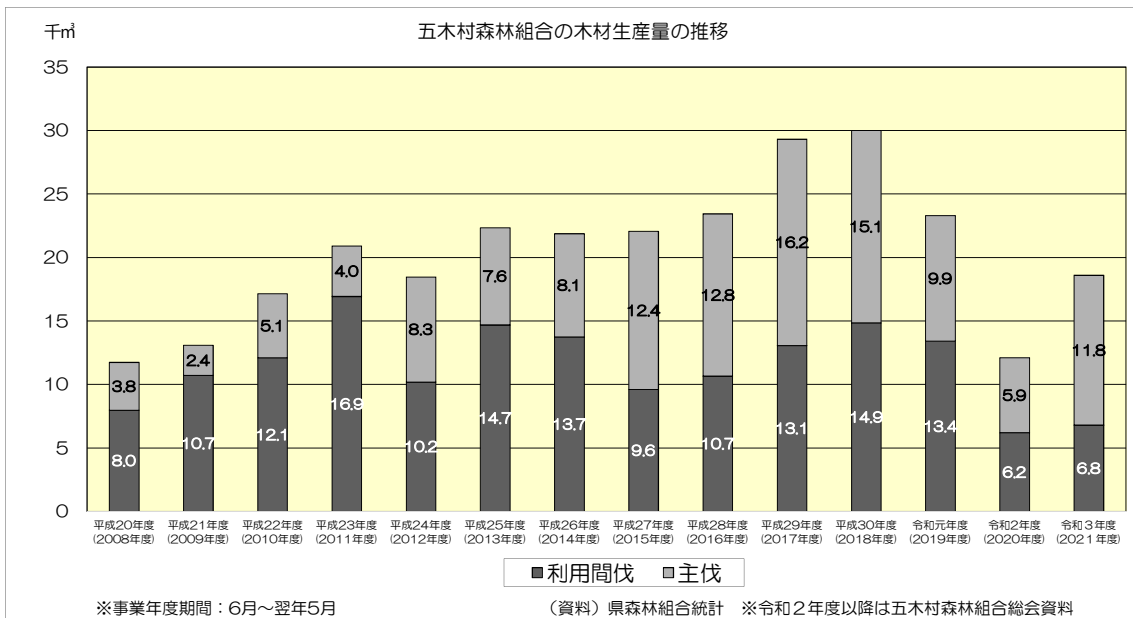


(資料) 五木村統計

(6) 五木村森林組合の木材生産量の推移

(千m)

	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
利用間伐	8.0	10.7	12.1	16.9	10.2	14.7	13.7	9.6	10.7	13.1	14.9	13.4	6.2	6.8
主伐	3.8	2.4	5.1	4.0	8.3	7.6	8.1	12.4	12.8	16.2	15.1	9.9	5.9	11.8
合計	11.7	13.1	17.1	20.9	18.5	22.3	21.9	22.1	23.4	29.3	30.0	23.3	12.1	18.6



(7) 五木村内の集落毎人口

	集落名	H21(2009).9.30現在(A)		R4(2022).9.30現在(B)		比較増減(B-A)	
		世帯数(戸)	人口(人)	世帯数(戸)	人口(人)	世帯数(戸)	人口(人)
1	小浜(こはま)	2	3	1	1	-1	-2
2	瀬目(せめ)	10	24	7	18	-3	-6
3	野々脇(ののわき)	7	15	7	19	0	4
4	宮目木(ぐうめき)	2	4	2	2	0	-2
5	葛の八重(くずのはえ)	8	17	4	5	-4	-12
6	大平(おおひら)	3	3	2	3	-1	0
7	下谷(しもたに)	29	70	22	52	-7	-18
8	三方谷(さんぼうたに)	2	3			-2	-3
9	頭地(とうち)	114	292	130	279	16	-13
10	掛橋(かけはし)	2	3	1	2	-1	-1
11	九折瀬(つづらせ)	14	53	8	32	-6	-21
12	竹の川(たけのかわ)	19	51	13	28	-6	-23
13	入鴨(いりかも)	6	17	4	6	-2	-11
14	梶原(かじわら)	17	46	16	30	-1	-16
15	小原(こばる)	5	7	2	2	-3	-5
16	日当(ひあて)	12	23	7	9	-5	-14
17	白蔵(しらぞう)	11	19	5	7	-6	-12
18	裾川(すそごう)	4	7	2	4	-2	-3
19	白水(しらみず)	16	41	12	23	-4	-18
20	宮園(みやその)	47	113	42	81	-5	-32
21	松尾野・穂楊枝(まつおの・ほようじ)	7	37	7	23	0	-14
22	八重(はえ)	13	24	12	19	-1	-5
23	平野・西谷(ひらの・にしだに)	41	90	32	56	-9	-34
24	栗鶴(くりつる)	14	42	11	29	-3	-13
25	平沢津(ひらさわつ)	18	45	15	30	-3	-15
26	端海野(たんかいの)	4	12	2	5	-2	-7
27	高野(たかの)	19	57	28	46	9	-11
28	下平瀬(しもひらせ)	24	45	16	30	-8	-15
29	上平瀬(かみひらせ)	15	24	10	15	-5	-9
30	白岩戸(しらいわど)	16	54	17	41	1	-13
31	中村(なかむら)	7	11	6	8	-1	-3
32	山口(やまぐち)	12	30	12	18	0	-12
33	内谷日当(うちだにひあて)	6	13	5	8	-1	-5
34	出る羽(いするは)	8	18	10	17	2	-1
35	内谷日添(うちだにひそえ)	9	26	7	14	-2	-12
36	小鶴(こづる)	13	34	4	13	-9	-21
	合 計	556	1,373	481	975	-75	-398

(資料) 五木村住民基本台帳

(8) 決算の概要

①歳入の推移

(千円)

区分	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
地方税	219,865	211,015	208,477	210,501	191,453	197,289	228,925	225,090	239,909	258,791	243,858	239,647	249,315	237,584
うち個人市町村民税	36,328	35,265	36,705	41,519	31,065	35,624	31,989	35,382	33,583	34,394	34,247	33,007	32,312	30,990
うち法人市町村民税	9,140	7,994	7,496	6,231	6,097	8,589	9,999	5,444	4,505	5,836	3,660	4,165	5,004	6,334
うち固定資産税	165,796	159,481	155,713	153,404	145,247	143,021	177,124	174,930	191,891	209,091	196,702	192,988	202,619	188,719
地方譲与税	40,969	40,475	39,552	38,433	36,147	34,274	32,345	33,830	40,295	38,258	39,176	56,091	72,565	72,999
地方特別交付金	1,551	4,267	5,295	5,475	-	-	131	31	4	44	38	2,108	1,342	1,992
地方交付税	1,129,225	1,163,214	1,221,008	1,195,358	1,512,597	1,431,858	1,223,674	1,333,596	1,238,201	1,158,464	1,076,305	1,046,582	1,331,051	1,285,092
普通交付税	1,006,632	1,028,046	1,064,782	1,044,483	1,338,027	1,287,053	1,083,571	1,134,516	1,093,878	1,014,089	925,355	940,448	957,303	1,067,851
特別交付税	122,593	135,168	156,226	150,875	174,570	144,805	140,103	199,080	144,323	144,375	150,950	106,134	373,748	217,241
その他の一般財源	25,901	22,400	20,427	18,478	20,250	18,623	18,563	29,318	28,072	31,123	31,703	27,033	27,879	30,312
小計（一般財源）	1,417,511	1,441,371	1,494,759	1,468,245	1,760,447	1,682,044	1,503,638	1,621,865	1,546,481	1,486,680	1,391,080	1,371,461	1,682,152	1,627,979
国庫支出金	176,699	406,124	1,213,267	338,917	452,920	841,841	623,306	328,490	400,348	267,178	249,405	272,579	632,786	493,517
都道府県支出金	238,319	382,535	506,094	430,065	861,720	1,334,809	1,378,154	754,433	713,289	843,185	707,934	410,802	267,664	489,531
繰入金	102,265	85,657	113,948	96,380	47,932	29,672	205,794	191,011	98,350	183,493	633,321	156,932	159,537	128,360
地方債	180,748	193,324	206,788	202,693	215,711	106,673	120,362	211,651	324,506	459,130	522,001	465,662	605,946	221,462
うち減収補償債(特例分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	70,248	109,024	123,288	81,593	91,211	86,773	72,562	72,751	53,906	49,030	48,301	36,362	36,196	46,862
その他の特定財源	209,672	476,939	333,086	266,889	255,028	259,337	292,556	325,772	385,317	331,407	244,971	237,794	175,972	333,434
歳入合計	2,325,214	2,985,950	3,867,942	2,803,189	3,593,758	4,254,376	4,123,810	3,433,222	3,468,291	3,571,073	3,748,712	2,915,230	3,524,057	3,294,283
うち自主財源	531,282	773,068	654,959	573,231	494,413	486,298	727,275	741,873	723,576	773,691	1,122,150	634,373	621,020	699,378
うち経常一般財源等	1,301,195	1,310,761	1,342,203	1,320,548	1,588,414	1,539,538	1,363,596	1,425,019	1,402,181	1,342,340	1,240,130	1,265,327	1,345,327	1,390,395

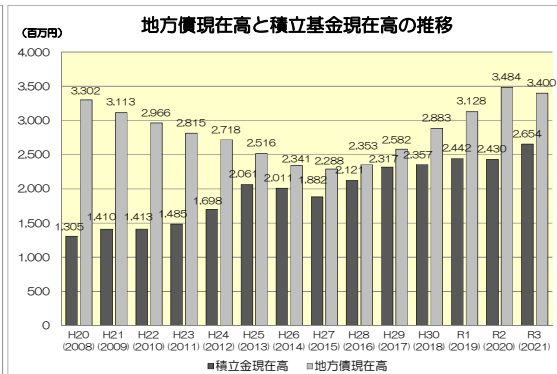
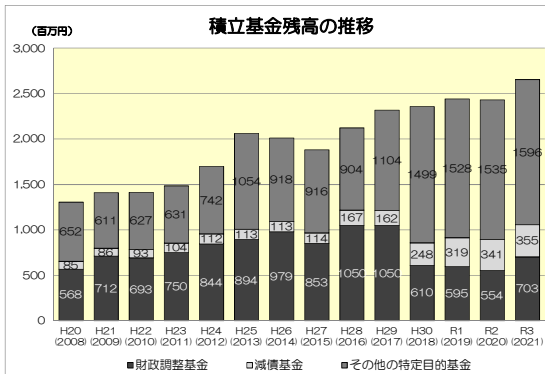
(注) 自主財源＝地方税、分担金・負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、譲り収入

②歳出の推移

(千円)

区分	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
義務的経費計	882,116	894,025	848,343	844,670	809,261	775,195	770,343	772,650	762,037	705,708	691,459	692,883	734,837	797,074
人件費	355,664	379,072	355,916	351,017	364,127	344,135	357,978	398,422	393,860	382,268	382,749	382,731	399,603	399,177
扶助費	62,328	70,029	80,094	85,679	83,237	76,911	76,761	74,629	77,938	67,248	66,196	70,868	69,419	79,514
公債費	464,124	444,924	412,333	407,974	361,897	354,149	335,604	299,599	290,239	256,192	242,514	239,644	265,815	318,383
物件費	377,259	456,570	472,173	475,167	510,006	509,719	586,020	548,980	541,859	564,016	543,602	602,557	457,904	521,985
維持補修費	39,248	40,157	40,385	39,628	49,445	53,293	60,434	81,149	89,839	69,160	86,849	92,685	97,040	94,009
補助費等	200,476	252,309	399,424	277,414	338,320	361,245	443,629	348,793	321,550	328,197	376,738	331,203	548,650	407,122
繰出金	109,136	104,453	101,133	96,473	105,694	175,083	143,250	164,371	100,849	79,469	75,768	71,431	90,617	128,181
積立金	8,082	149,070	72,223	44,676	199,918	342,192	34,623	25,391	176,203	254,674	570,843	164,225	122,186	94,811
投資的経費	550,710	895,302	1,688,194	796,746	1,390,736	1,781,360	1,880,338	1,081,484	1,189,519	1,284,908	1,236,347	905,349	1,157,902	868,349
うち普通建設事業費	498,459	826,267	1,681,816	712,720	1,083,955	1,466,905	1,714,526	933,802	1,072,429	1,075,986	1,082,703	762,947	724,301	507,225
うち補助事業	282,506	368,074	1,150,773	439,705	782,296	1,117,863	1,276,883	709,974	907,448	808,514	634,783	337,582	267,459	345,615
うち単独事業	208,159	450,929	530,552	271,065	300,009	347,017	431,343	214,600	161,756	266,109	445,167	425,365	456,842	161,610
うち災害復旧費	52,251	69,035	6,378	84,026	306,781	314,455	165,812	147,682	117,090	208,922	153,644	142,402	433,601	361,124
その他	300	0	0	0	0	0	12,500	7,000	0	73,000	0	0	0	0
歳出合計	2,167,327	2,791,886	3,621,875	2,574,774	3,403,380	3,998,087	3,931,137	3,029,818	3,181,856	3,359,132	3,581,606	2,860,333	3,209,136	2,911,531

③積立基金と地方債の推移



(資料) 五木村調査



五木の春祭り（五木源住宅展示）



五木の冬祭り（丸太切り体験）

発行者：熊本県

所属：球磨川流域復興局

発行年度：令和5年度（2023年度）